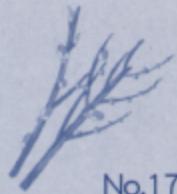


学校教育だより



まなびやまと



No.17

平成22年(2010年)2月
大和市教育委員会

教育長就任あいさつ

教育長 滝澤 正



昨年10月1日に教育長

を仰せつかりました。皆様、
どうぞよろしくお願ひしま
す。

が学ぶ楽しさ・できる喜び
を得られる授業づくり。特
別活動や道徳教育をとおし
て、豊かな心を育み、子ど
もと教師子ども同士の望
ましい人間関係づくりへ向
けての教育活動を開拓する
こと。

また、家庭にあっては、
基本的生活習慣の形成や善
悪の判断といった規範意識
の高揚を図ること。

さて、大和市教育委員会
では、「自ら成長する力を
育む学校教育」を基本理念
として、平成18年3月に大
和市学校教育基本計画を策
定し、学校・家庭・行政・
地域が一体となって、みず
みずしい感性と豊かな心を
基盤に、自ら成長する力を
もつた児童生徒の育成に取
り組んでいます。

そのためには、まず、学
校・家庭・地域がそれぞれ、
本来もつている教育機能を
十分發揮することが大切で
す。さらには、学校・家庭・
地域の三者が緊密な連携を
図り、豊かな心と自ら成長
する力の育成を図ることが
重要です。

学校にあっては、子ども
たちの体験を通して、簡
便なことでも実は大
変であるということ、自
分が作った和菓子を客が
手にとってくれることの
喜び、大変なことを乗り
越えた先にやりがいがあ
ること等、とても素晴らしい
ことを学んでいます。

さらに、地域にあっては、
「地域で子どもを育む」と
いう考え方のもと、子どもの
見守り活動や自然体験、勤
労体験の場づくりなど、子
どもたちの健全育成へ向け
ての環境づくりにご尽力い
ただくこと。

学校・家庭・地域がもつ
教育機能と現状を改めて見
つめ直し、子どもの成長に
とつてよりよい教育環境と
は何かを問い合わせなかで、
「自助・共助・公助」の理
念をいかした具体的行動が
求められています。

次代を担う子どもたちの
健やかな成長を図るために、
大和の教育の充実・発展に
努めてまいります。

渋谷中学校

トライワークに奨励賞

横浜で、第19回全国産業
教育フェア神奈川大会が
開かれました。

この中で、中学生職場
体験、高校生・専門学校
生インターンシップ体験
発表会が開かれ、渋谷中
学校は、「地域に根ざすト
ライワーク」を渋谷中學
校職場体験」と題して
学校の取り組みを発表し、
奨励賞をいただきました。

広い会場の中、スポット
ライトを浴びた三年生
二人の発表者の緊張はい
かばかりのものでしよう。

トライワークは、渋谷中
学校がどのようにして地域
の方々に支えられて職場
体験学習を11年間積み重
ねてきたか、また、その
実習体験で自分が何を学
んだかを、しっかりと発
表していました。

県内の4中学校、3高
校、1専門学校の受賞校の
代表による発表後、文部科
教育局児童生徒課の藤田
調査官の藤田



命に、堂々と、渋谷中學
校がどのようにして地域
の方々に支えられて職場
体験学習を11年間積み重
ねてきたか、また、その
実習体験で自分が何を学
んだかを、しっかりと発
表していました。

市内では多くの中学校
で職場体験学習がすすめ
られています。また、この
ようなキャリア教育は小學
校でも進められています。
解決すべき課題もあります
が、この学習の継続・
発展に期待が寄せられま
す。

そのようなことを学べる
場として、地域の中で受
け入れていただいている
ことに、この中学生の職
場体験の価値があるので
す。」と話してくださいま
した。

市内では多くの中学校
で職場体験学習がすすめ
られています。また、この
ようなキャリア教育は小學
校でも進められています。
解決すべき課題もあります
が、この学習の継続・
発展に期待が寄せられま
す。

单そうしたことでも実は大
変であるということ、自
分が作った和菓子を客が
手にとってくれることの
喜び、大変なことを乗り
越えた先にやりがいがあ
ること等、とても素晴らしい
ことを学んでいます。

見之先生より講評があり
ました。渋谷中学校の取
り組みについて、「和菓子
作りの体験を通して、簡
便なことでも実は大
変であるということ、自
分が作った和菓子を客が
手にとってくれることの
喜び、大変なことを乗り
越えた先にやりがいがあ
ること等、とても素晴らしい
ことを学んでいます。

11月15日、パシフィコ
横浜で、第19回全国産業
教育フェア神奈川大会が
開かれました。

見之先生より講評があり
ました。渋谷中学校の取
り組みについて、「和菓子
作りの体験を通して、簡
便なことでも実は大
変であるということ、自
分が作った和菓子を客が
手にとってくれることの
喜び、大変なことを乗り
越えた先にやりがいがあ
ること等、とても素晴らしい
ことを学んでいます。

緑の芝生に光る汗

上和田小学校六年生

10月19日、上和田小学校で六年生を対象にサッカー教室が開かれました。スポーツの楽しさ・サッカーの面白さを味わうことを目的に、横浜F・マリノス株式会社ホームタウン・普及本部の事業「サッカーキャラバン巡回指導」として実施されたものです。



あいさつ後、児童は、緑鮮やかな芝生の上で、簡単でチームワークが必要なゲームやドリブル練習をしました。休憩後、男女別に試合を行いました。コーチのアドバイスとあたたかな励ましに、児童の動きも生き生きとし、どの試合も熱が入るものでした。

食器リニューアル

西鶴間小学校



給食時間は、子どもたちにとって楽しみな時間です。西鶴間小学校では、9月から、給食の食器がアルマイト製からPEN樹脂(ボリュームレンナフタレー)にリニューアルされました。PEN樹脂は質感もなく、安全性にすぐれ、環境に配慮したリサイクル可能な素材です。アイボリー系の、淡いオレンジのプロツ

校で指導したのは初めてです。なるべく外に出て、体を動かしてください。サッカーも好きになつてくれたらうれしいです。』と熱く語りました。



今年も、五年生が、外部講師による講演、学区内にある「三機自然環境園(ビオトープ)」の見学や「環境エネルギー館」への社会見学等、体験を重ねています。

11月 12月



北大和小学校では、自分の身の回りを見つめた環境学習や、環境委員会による廃油回収が継続的に取り組まれています。

今年も、五年生が、外部講師による講演、学区内にある「三機自然環境園(ビオトープ)」の見学や「環境エネルギー館」への社会見学等、体験を重ねています。

また、回収した廃食用油をバイオ・ディーゼル燃料(BDF)に精製している社会福祉法人「ふきのとう舎」の職員よりBDFができるまでの廃油の旅を学んだ児童は、「役に立っている気がした。これからも使った油を集めたい。」と話してくれました。

2月には、東京ガスによるクリーンがついた食器に、児童は「明るい雰囲気になつたので同じものでもおいしく感じる」「持つ時に熱くない」「嫌な音がない。」「小さい時に使っていた食器みたい。」と話していました。

給食時間は、子どもたちにとって楽しみな時間です。西鶴間小学校では、9月から、給食の食器がアルマイト製からPEN樹脂(ボリュームレンナフタレー)にリニューアルされました。PEN樹脂は質感もなく、安全性にすぐれ、環境に配慮したリサイクル可能な素材です。アイボリー系の、淡いオレンジのプロツ

ます。この新食器は、本校の他小学校2校、中学校6校で使用しています。中学校用はグリーンのブロックラインで落ち着いた感じになっています。



の良さを満喫させてあげたい。』と話していました。

コーチは、「上手でした。今疲れていると思うけど、大事なのはこのやり終わった時に話がしつかり聞けること。話を聞く時にしつかり目を見れば、頭にも入ります。勉強の時も一緒に勉強します。

北大和小学校では、自分の身の回りを見つめた環境学習や、環境委員会による廃油回収が継続的に取り組まれています。

「静かでゆれない車だと思つた。酔いややすい私もこれなら酔わない。」「CO₂を出さないこいつらが増えていくと地球にやさしいと思った。」と話してくれました。

担任の先生は、「地球環境について、日本や大和の現状を知り、保護者や教師、地域の方々の環境への思いや子どもの成長への願いを知り、理想の未来の大和に向かって、今できることを考え、行動であります。

で学んだ後、この一年で自分たちが学んだことをまとめ、校内に向けて発信し、自分たちができるることを実践するそうです。

環境学習

北大和小学校五年生

学校に電気自動車(EV)がやってきました。市の職員からCO₂削減の重要性を学んだ後、市が10月に購入した電気自動車に体験乗車した児童は、

「エコ・クッキング出張授業」で学んだ後、この一年で自分たちが学んだことをまとめ、校内に向けて発信し、自分たちができることを実践するそうです。

児童の使いやすさも考慮されました。うどんの麺類用食器やお盆は、今までより一回り大きなサイズになつてい

小学校外国語活動始まる

渋谷小学校・柳橋小学校

小学校では、平成23年度より新学習指導要領が全面実施され、外国語活動を、五・六年生で年間35時間学習します。本市では、今年度より各学年17～35時間実施しています。

市内の小学校では、校内外で、小学校外国語活動の在り方や指導法等の研修が重ねられています。

公開授業参観・講演

140人超の先生が参加

渋谷小学校

11月30日、渋谷小学校で外国語活動の六年生の授業「レストランへ行こう」が市内の先生方に公開されました。

<レストランの会話例>
店員："What would you like?"
客："I'd like ~ and ~, please."
店員："Here you are."
客："Thank you."

好きな料理を尋ねて答えを尋ねて答えるゲームの後、店員役と客役に分かれてレストランでのコミュニケーション体験をしました。はじめは多くの参観者に緊張し、とま



外国語活動の校内研究会

柳橋小学校

12月1日、柳橋小学校では、校内の先生全員が参加して授業公開とその授業についての研究会が行われました。

六年生「世界の国々について知ろう」の授業では、Ất授業参観後、「コミュニケーションを楽しむ」というねらいが達成できていたかについて、本学園の外國語活動について指導講師をお願いして、いる文京学院



あたたかな日差しが降り注ぐ、パステルカラーに包まれた図書室。紙芝居や大型絵本をはじめ、たくさんの読み物

本が並んでいます。真新しい書架や椅子とともに、手作りの椅子がありました。幼稚園からいただいた椅子に、夏休みに先生方がピンクやライトグリーンにペンキ塗りをしたそうです。廊下の下駄箱からも心温まる手作り感が漂います。



新図書室誕生

林間小学校

この図書室改修は市のウエルカムプランとして実施されています。これまでに整備された林間小学校



と大和小学校に続き、今年度中に8校、来年度は6校が学校オリジナルのプランにより整備されます。

は楽しみながら、世界の国々への理解を深めていました。五年生「好きなもの」の授業では、チャンツやピンガゲームで A: Do you like ~? //

B: Yes, I do. の合い回しに

慣れたのち、友達に好きなものを見ね合いました。児童はたくさんの友達やALTとコミュニケーションをはかっていました。



大和市立上和田中学校
祝創立三十周年

本校は、昭和55年4月に開校。今年度は、創立三十周年目を迎えています。

この三十年間、地域の方々や保護者の皆様の絶大なるご支援により、「ここはふるさと上和田中学校」と校歌に歌われているように、地域の方々に見守られ、地域にしつかり根付いた、穏やかな校風が築かれてきました。現在も、「豊かな心を育む」という学校教育目標に向かって、熱心な教職員が一致団結、努力しております。その取り組みの成果の一端をご紹介します。

部活動の充実

本校は小規模校ですが、運動部8、文化部2、計10の部活動があり、部活動の加入率はここ一、二年上がり、80%近くなりました。今年度は、特に、野球部が県大会で第三位、サッカー部が秋の県央大会で優勝、(いずれも本校「初」)吹奏楽部も七年ぶりに県央大会で金賞を受賞するなど、どの部も目覚ましい活躍ぶりで、創立三十周年に花を添えています。

環境の整備

本校は、校舎内外の環境整備に力を入れており、年中「花のある学校」として学校花壇が充実しています。三年連続「まちかど花壇」

行事に全力投球

本校には三大行事として、運動会、上軌祭(学習発表会)、校内駅伝大会があります。特に「校内駅伝」は、開校一年目から一度も途切ることなく続いており、今年度は三十四回の記念大会として12月18日に実施しました。



プロ野球選手誕生

昨年、プロ野球ドラフト会議で、本校の三年前の卒業生である、「伊東昂大(こうた)君(投手)」が広島東洋カープに指名され、入団することになりました。本市では、二人目ということですが、本校初のプロ野球選手。一月八日、在校生を激励に来校。当日、Yシャツ、ネクタイ姿でありましたがピッチングを披露してくれました。全校生徒から驚きとどよめきが上がり、生徒たちに大きな夢を与えてくれました。



ンクール
(財)大和市スポ
ーツ・よ
か・みど
り財団主
催)で表
彰され、
今年度は
銀賞でし
た。

青少年相談室をご存知ですか?

青少年相談室は、大和駅徒歩5分やまと公園の隣、主に次の四つの活動を行っています。

一、相談活動

【I】電話相談

①ヤングテレホン 260-15040

青少年本人が、自分や友達のことで相談する電話です。

②親と子の相談電話 261-17830

保護者が子どものことで相談する電話です。

③いじめ110番フリーダイヤル 0120-1874255

いじめを受けている自分や友達のことを相談する電話です。

④不登校相談電話 260-15034

不登校について相談する電話です。

【II】来室相談

・電話相談だけでは解決が難しい場合に直接での相談に応じています。

二、教育支援教室「まほろば教室」の設置

学校に登校したくても登校できずに悩んでいる児童生徒の支援のための教室です。

三、学校教育相談員の配置

児童生徒や保護者の気軽な相談相手として各学校に配置しています。

四、非行防止活動(街頭補導・社会環境浄化活動)

青少年の健やかな成長のために、隨時、街頭補導を行っています。また有害な看板、張り紙などの撤去活動も行っています。

○ ○ ○ ○ ○

「まなびやまと」は、開かれた教育行政の一環として、保護者、市民、教職員向けに、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。気軽に読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。